

令和 6 年度公益財団法人宇部市常盤動物園協会事業計画

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

令和 6 年度の宇部市常盤動物園協会の事業推進にあたっては、その主業務を動物施設の保守管理および飼育動物の良好な管理を基本とし、定款第 4 条の定めるところにより、下記の事業を行います。

1. 公益目的事業

(1) 動物の知識及び動物愛護思想の普及に関する事業（自主事業）

来園者への企画・イベントとして、また児童・学生・社会人を対象とした教育の場として以下の活動を行います。

① イベントの開催

○動物ガイド

・飼育員ガイド

来園者に園内の動物をより深く知っていただく、興味をもって見ていただくために、飼育員がその動物について、特徴、野生下でのくらし、保全などの解説を通常毎日行います。特に令和 6 年度はガイドのスケジュールを見直し、来園者の参加率や満足度の向上を図ります。また、ガイドのマニュアルを再整備するとともに掲示物や標本を使うなどガイドの磨き上げを行います。

・園長とさんぽ

園内を案内しながら動物・動物園・飼育・保全等について幅広くガイドを行います。

・おはよう動物ガイド

開園前の動物園に特別に入園していただき、動物が寝室から展示場に元気よく出ていく様子を見ながら、その動物にまつわるガイドを行います。

○特別ガイド・イベント

季節行事や特別な日・期間（飼育の日や動物愛護週間など）に、動物園に関する知識や野生生物及び環境保全への意識の向上を図るこ

とを目的とした特別ガイドを行います。あわせて、令和6年度はAR（拡張現実）も利用した園内へのパネル展示やクイズラリー、動画作成、配信等にも取り組みます。

○動物とのふれあい

ウサギやモルモットとのふれあいを通して、動物愛護思想の普及、涵養に努めます。

○えさやり体験

アルパカのえさやり体験及びヤギのえさやり体験を通して、動物愛護思想の普及、涵養に努めます。

○生き物観察会

身近な自然に親しみ、生物多様性・環境保全に対する意識の向上を目的とした、ときわ公園内での観察会を行います。

- ・ホタル観察会
- ・昆虫観察会
- ・野鳥観察会
- ・水生生物観察会

○飼育体験

動物園における飼育員の仕事について学ぶことを目的として、夏休みに小学4～6年を対象とした「なりきり飼育員」を、また幼児～小学1～3年を対象とした「ちょこっと飼育体験」（特別イベント）を行います。

○獣医師体験

動物園における獣医師の仕事について学び理解を深めることを目的として、小学校高学年を対象とした動物園獣医療の体験を行います。

○作品コンクール

動物を観察し作品制作を行うことで、動物への理解を深めてもらうことを目的として、下記の作品を募集し、審査、展示等を行います。

- ・動物粘土作品コンクール
- ・山口県児童幼児動物画コンクール
- ・写真コンテスト

- ・動物愛護標語コンクール ((公社)日本動物園水族館協会の主催行事に協力)

○ドリームデイ・アット・ザ・ズー (宇部市の主催行事に協力)

障がいのある方やそのご家族に楽しんでもらうことを目的として、動物園に特別に招待し、イベントを開催するとともにさらなる障がいのある方の利用促進を図ります。宇部市の主催行事として、NPO 法人等と協力して行います。

○年賀状イベント

動物への理解や親しみの醸成を目的として、市内郵便局と協力して幼稚園・保育園児等からときわ動物園の動物に年賀状を送るイベントを行い、展示を通じて啓発を勧めます。

○体験学習館モンスタでのイベント

常設展・企画展や体験型プログラム等により、動物への理解や親しみの醸成、環境教育等に繋がります。

- ・常設展 (企画展とは別に所有する標本などの展示を行います)
- ・ときわ動物園写真コンテスト展 (10月下旬～11月中旬)
- ・干支展 (12月～1月)
- ・体験型プログラム

園内の植物やアルパカの毛などを用いたものや、特に夏休みに向け動物などに関係するワークショップを行います。

○動物サポーター向けイベント

動物サポーター制度は、個人や法人の方々に募金を通じて、ときわ動物園の運営を応援していただくもので、サポーターを増やすための広報に努めます。また、サポーターの方への特典として、バックヤードの見学やワークショップ等を行いサポーター登録を促進します。

② 社会教育活動

○学習プログラム

学校教育との連携を深め、社会見学などで来園した学校に小学校や中学校の教科書に合わせたプログラムやキャリア教育等を実施する他、同内容で出前講座や講師派遣等にも対応します。また、中学生向けに新たなプログラムを開発します。

○インターンシップ、飼育実習、職場体験学習等の受け入れ

大学生や専門学校生を対象にしたインターンシップ、飼育実習の受け入れ・指導及び高校生や中学生を対象にした職場体験学習の受け入れ・指導等を行います。飼育員の仕事を体験、実習指導を通じて仕事への理解を深めるとともに、将来飼育員をめざす人材の育成も目的とします。

○講演等

動物園や動物のことだけでなく、生物多様性や野生動物との共生など様々なテーマでの講演を国内外で行い、それらの普及・啓発を図ります。

③ 広報普及

○Web サイトでの情報発信

お知らせやイベント情報などの情報発信を行います。

○X (旧 Twitter)、Instagram、Facebook などの SNS での情報発信

動物の情報などをよりリアルタイムに、フォロワーにダイレクトに発信を行います。また、それらの分析も行い、業務の改善等に繋がります。

○広報

宇部市と連携し、宇部市広報、ときわ公園ニュースなどの広報紙への掲載を行います。

○来園者への情報発信

園内の自然（植物や昆虫、野鳥など）の情報を発信する広報紙を作成し、入口ゲートに配置します。

○ノベルティ制作

ときわ動物園カレンダーなどのノベルティグッズを配布し、広報及び来園者増を図ります。

(2) 動物の飼育管理及び園内の施設・環境整備

○動物の飼育と展示

14目・23科・40種・230点（令和6年1月31日現在）の動物について、日常の清掃・給餌・観察、記録等により適正に飼育管理するとともに、飼育及び展示環境を整備して展示効果を高めていきます。また、（公社）日本動物園水族館協会が行う血統登録管理に参画し、その血統管理方策を踏まえた上で宇部市と協議しながら動物の収集や移動等を行います。特に、白鳥類については新規導入や繁殖により増羽を図っていきます。

○飼育動物の健康管理

飼育動物には検診や治療等の適正な獣医療を施すとともに、高病原性鳥インフルエンザ等の感染症の予防対策を講じます。特に、高病原性鳥インフルエンザについては近年の感染拡大が著しいことから、対策や対応の見直しを進めます。

一定レベルの獣医療を目指して、未整備の医療機器について引き続き宇部市と協議しながら整備を試みていきます。

○飼育管理上の安全

ヒヤリハットの報告システムや訓練等を通じて、動物逸走や事故防止を図るとともに、万が一発生時の早期収束を目指します。

○施設の維持管理

獣舎を始めとした各施設は、それらの機能が十分発揮されるよう日常点検、修繕等により適正に維持管理していきます。また、施設のハード面の課題等について、宇部市に説明・要望していきます。

○植栽等の環境整備

動物園及び遊園地内の植栽の剪定や除草等の環境整備に努め、来園者に良好で適正な園内環境を提供します。

○園内サービス

入園者への園内情報の提供・車椅子の貸出(無料)・園内放送の充実等、入園者の利便性の向上に努めます。

(3) 動物種の保全に関する調査研究

○動物飼育に関する調査研究

飼育動物の飼育や繁殖等のデータを収集・分析して飼育繁殖技術を一層高めるとともに、研究会・学会等に研究発表して国内動物園の飼育繁殖技術の底上げに寄与します。

○生き物の調査研究

ときわ公園内の野鳥・昆虫・水生生物等の生息調査を継続的に実施してデータを蓄積するとともに、その結果を地域や一般への教育普及、啓発等に生かしていきます。

○外部機関との連携・協働

国内外の大学・研究機関や動物園等と連携・協働して、飼育動物の生態や生理、疾病等に関する調査研究を行い、当協会の事業に還元します。

2. 収益事業

宇部市からの受託事業である駐車場の維持管理とこれに付随する業務を実施します。また、自動販売機や売店（インターネットショップを含む）での物品販売を行います。

3. 法人事業

理事会・評議員会等に関する業務を行うと共に人事・経理・総務等の業務を行い、法人の健全で適正な運営を図ります。